

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	臨床作業療法学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期 月3・4	教室名	403号室
担当教員	本家 寛文、田中 将士	実務経験と その関連資格	作業療法士として病院・施設で勤務し、身体障害者領域・精神障害者領域 で各疾患に対して作業療法を実践。新人教育、実習学生の指導に携わる。			
《授業科目における学習内容》						
問題基盤型学習を(PBL)をベースとして、各疾患ごとに患者の有する問題の仮説とその仮説を証明するための検査項目の明確化、そして 問題点を明確化し治療プランを立案するまでの課題をグループ学習を通して行い、臨床推論能力の向上及び学習方法の獲得を目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
課題レポート80% (40点×2回)、学外実習でのデイリーノート20% (2点×10回) で評定する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>■ 標準作業療法学 専門分野 作業療法臨床実習とケーススタディ 第3版</p> <p>■ OT症例レポート赤ペン添削ビフォー&アフター</p>						
《授業外における学習方法》						
授業を理解するために教科書で予習、授業の復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
2年次の終盤には臨床実習 I (評価実習)、3年次は臨床実習 II、III (総合実習)が行われる。2年次の後期には実技などの実習対策が本 格化する。その前に、臨床実習がどういものかを理解しておく、必要があります。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	① 臨床実習の内容と位置づけについての理解を深める。 ② 臨床実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める。	教科書	事前学習 (30分) 参考教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習	
		各コマに おける 授業予定	臨床実習の位置づけ、目的と目標について学ぶ。 臨床実習の準備と心構えについて学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	① 臨床実習の内容と位置づけについての理解を深める。 ② 臨床実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める。 ③ 臨床実習の展開についての理解を深める。	教科書	事前学習 (30分) 参考教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習	
		各コマに おける 授業予定	臨床実習の実際について学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	③ 臨床実習の展開についての理解を深める。 ④ デイリーノートの書き方を学ぶ。	教科書	事前学習 (30分) 参考教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習	
		各コマに おける 授業予定	デイリーノートの書き方について学ぶ。			
第4回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	③ 臨床実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事前学習 (30分) 参考教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習	
		各コマに おける 授業予定	ケースノートの書き方について学ぶ。			
第5回	講義演習形式	授業を 通じての 到達目標	③ 臨床実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事前学習 (30分) 参考教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習	
		各コマに おける 授業予定	OT初期評価の書き方について学ぶ。 事例演習から臨床思考過程を学ぶ。			

授業の方法		内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ③ 臨床実習の展開についての理解を深める。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事前学習 (30分) 参考教科書の予習 事後学習 (30分) 授業の復習
	各コマにおける授業予定	OT初期評価の書き方について学ぶ。 事例演習から臨床思考過程を学ぶ。		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ③ 臨床実習の展開についての理解を深める。 ④ デイリーノートの書き方を学ぶ。 ⑤ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事後学習 (60分) 学外実習の記録作成
	各コマにおける授業予定	学外実習を通して、コミュニケーションや記録の重要性を学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 ① 臨床実習の内容と位置づけについての理解を深める② 臨床実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める③ 臨床実習の展開についての理解を深める④ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事後学習 (60分) 学外実習の記録作成
	各コマにおける授業予定	学外実習を通して、コミュニケーションや記録の重要性を学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 ① 臨床実習の内容と位置づけについての理解を深める② 臨床実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める③ 臨床実習の展開についての理解を深める④ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事後学習 (60分) 学外実習の記録作成
	各コマにおける授業予定	学外実習を通して、コミュニケーションや記録の重要性を学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 ① 臨床実習の内容と位置づけについての理解を深める② 臨床実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める③ 臨床実習の展開についての理解を深める④ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事後学習 (60分) 学外実習の記録作成
	各コマにおける授業予定	学外実習を通して、コミュニケーションや記録の重要性を学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 ① 臨床実習の内容と位置づけについての理解を深める② 臨床実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める③ 臨床実習の展開についての理解を深める④ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事後学習 (60分) 学外実習の記録作成
	各コマにおける授業予定	学外実習を通して、コミュニケーションや記録の重要性を学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 ① 臨床実習の内容と位置づけについての理解を深める② 臨床実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める③ 臨床実習の展開についての理解を深める④ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事後学習 (60分) 学外実習の記録作成
	各コマにおける授業予定	学外実習を通して、コミュニケーションや記録の重要性を学ぶ。		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ① 臨床実習の内容と位置づけについての理解を深める② 臨床実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める③ 臨床実習の展開についての理解を深める④ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事後学習 (60分) OT初期評価レポートの作成(評価情報の統合と解釈の練習)
	各コマにおける授業予定	学外実習や事例演習を通して、臨床思考過程や評価情報の統合と解釈について学ぶ。		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ① 臨床実習の内容と位置づけについての理解を深める② 臨床実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める③ 臨床実習の展開についての理解を深める④ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事後学習 (60分) OT初期評価レポートの作成(評価情報の統合と解釈の練習)
	各コマにおける授業予定	学外実習や事例演習を通して、臨床思考過程や評価情報の統合と解釈について学ぶ。		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標 ① 臨床実習の内容と位置づけについての理解を深める② 臨床実習を行う上で大切な準備と心構えについての理解を深める③ 臨床実習の展開についての理解を深める④ ケーススタディの作成、目的、内容、方法を深める。	教科書	事後学習 (60分) OT初期評価レポートの作成(評価情報の統合と解釈の練習)
	各コマにおける授業予定	学外実習や事例演習を通して、臨床思考過程や評価情報の統合と解釈について学ぶ。		